



背景画と字幕解説で歌曲・オペラがその場で楽しめる...

2011 Suzuko Kreutzer Soprano Recital Lieder & Opera Aria Concert

Program:

第1部 歌曲

- F.メンデルスゾーン 「歌のつばさに」
「秋の歌」 「すずらんと小さき花たち」
G.ロッシーニ 「約束」 「セレナータ」
「ベネツィアの競艇」 (3部作)

第2部 オペラアリア

- G.プッチーニ オペラ'ラ・ボエーム'より
「冷たき手を」 「私の名はミミ」 「二重唱」
F.フロトウ オペラ'マルタ'より、
「夢の如く」 「夏の名残の薔薇」 「二重唱」
C.グノー オペラ'ファウスト'より、 「宝石の歌」

Lieder

- F.Mendelssohn Auf Flügeln des Gesanges
Herbstlied
Maiglöckchen und die Blümelein
G.Rossini La Promessa
La Serenata
La Regata Veneziana
Anzoletta avanti la regata
Anzoletta co passa la regata
Anzoletta dopo la regata

Opera Aria

- G.Puccini Opera 'La Bohème'
Che gelida manina
Si, Mi chiamano Mimi
O soave fanciulla
F.Flottow Opera 'Martha oder Der Markt zu Richmond'
Letzte Rose
M'appari tutt'amor
Duett
C.Gounod Opera 'Faust'
Ah! je ris de me voir si belle en ce miroir

クロイツァー涼子

ソプラノリサイタル

歌曲・オペラアリアコンサート

テナー 小貫岩夫

ピアノ 岡田知子

2011年9月28日(水) 19時開演

18:30時開場

津田ホール

チケット 一般4,500円 学生3,000円

チケット・問合せ

ベルトーン音楽企画 03(3996)4979

主催 ベルトーン音楽企画

<http://www.belton-academy.com/>

後援 日本演奏連盟 クロイツァー記念会



このコンサートの聴きどころ…、 オペラの臨場感が味わえる岡田知子のピアノ、 響きあう小貫岩夫との二重唱、 それにクロイツァー涼子のレパートリーの数々…

Profile

クロイツァー涼子 (ソプラノ)

幼少より音楽全般に渡って伯父伯母である世界的ピアニスト、レオニード・クロイツァー・豊子夫妻の影響を受けて育つ。国立音楽大学声楽科卒業。ブリュッセル、ウィーン、マドリードの大使館演奏会、東京オペラシティコンサートホールソプラノ演奏会、環太平洋国際医学会の10カ国語国歌演奏ほか多数の演奏会に出演。25回のリサイタルには、メトロポリタン歌劇場常任コレペティのジョージ・マロイ氏とのニューヨークの教会リサイタル、ウィーン・バレーフィア宮殿、カイザーハウス宮殿リサイタルが含まれる。マリア・カルヴォーネ教授、林廣子教授に師事、また名ソプラノとして知られる大谷渕子、ヒルデガルド・バーレンスの両氏から演奏法を学ぶ。2002年ウィーン国立音大ゼミよりインゲボルグ・ヴァムザー名誉教授に師事、ヴァムザー発声法を学び後年日本で唯一の後継者としてヴァムザー教授より認定される。これまでのイタリア・ドイツの発声、歌唱法の研究を元に、美しく音楽性豊かな演奏を目指したクロイツァー涼子独自の自然な発声指導法・クロイツァー発声法としてまとめ、受験生から高齢の声楽家まで幅広く指導している。有明教育芸術短期大学非常勤講師。著書に有明教育芸術短期大学紀要第2号「芸術家を目指す声楽学生に効果的なイタリア・ドイツ系の発声法と歌唱法の研究」がある。

小貫岩夫 (テナー)

同志社大学卒業後、大阪音楽大学首席卒業。文化庁オペラ研修所修了。飯塚新人音楽コンクール声楽部門大賞（文部大臣奨励賞）など数々のコンクールで優勝、入選。在学中、堺シテオペラ「魔笛」タミーノ役でテオ・アダムら世界的歌手と共演、デビュー。ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場から招聘を受けた公演でも地元紙より好評を得た。98年文化庁派遣研修員でミラノ留学。2000年R.シュトラウス「サロメ」（若杉弘指揮）で新国立劇場デビュー、その後二期会を中心に「忠臣蔵」「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「ターフィット」「鳴神」（市川團十郎演出）白雲坊、「コジ・ファン・トゥッテ」（宮本亜門演出・文化庁芸術祭大賞受賞）フェランド、「パルシファル」タイトルロール、「魔笛」（実相寺昭雄演出）タミーノで出演。また新国立小劇場、びわ湖ホール、兵庫県立芸術文化センター、日生劇場へも出演。アルミリアート指揮、読響の歌劇「道化師」や「第九」「メサイア」「レクイエム」（ヴェルディ、モーツァルト）なども高い評価を得る。毎年リサイタルを東京と大阪で開催。「トゥーランドット」と武道館公演、なかにし礼作・世界劇「黄金の刻（とき）」はNHK全国放送、NHK-FM「名曲リサイタル」にも出演。2011年7月オペレッタ「こうもり」アルフレード役（兵庫県立芸術文化センター、佐渡裕指揮）で出演。二期会会員。

岡田知子 (ピアノ)

東京芸術大学、デトモルト大学卒業。ピアノを故永井進、小林道夫、シルディ、シュヌア、室内楽伴奏法をヴァイセンボルン、チェンバロをデューリンクの各氏に師事。

1977年1月旧西ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール、ピアノ・トリオ部門で第1位。同年10月ジュネーヴ国際音楽コンクール、ピアノ・トリオ部門で1位なしの第2位。スイス特別賞受賞。以後ドイツ、スイスにおいて多くのコンサートを持つ。シュヴァルツコップ、デ・ロス・アンヘレス、ヘフリガー各氏の公開講座の通訳及び伴奏を務める。80年より草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに参加。ヘフリガー氏、フルートのオーレル・ニコル氏のアシスタントを務める。91年よりチューリヒ夏季マスターコースでもヘフリガー、エーバーハルト・フィンケ（チェロ）両氏のピアノ伴奏を務めた。

内外のアーティストとの共演者として、高い評価と信頼を得ている。

津田ホール

JR千駄ヶ谷駅・地下鉄大江戸線国立競技場駅下車徒歩2分
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24
TEL 03-3402-1851



ソプラノ *Soprano*
Suzuko Kreutzer
クロイツァー涼子



テナー *Tenorr*
Iwao Omuki
小貫岩夫



ピアノ *Piano*
Tomoko Okada
岡田知子

